

①: ガウスの法則より. 断面 S を仮定.

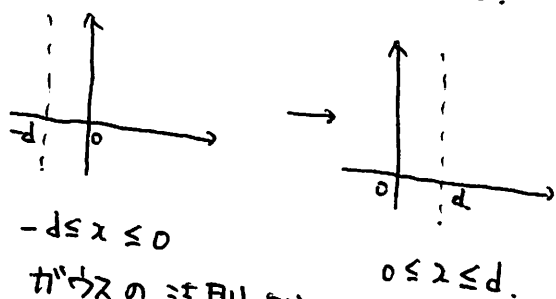
$$\int E(x) \cdot d\mathbf{S} = \frac{P d}{\epsilon_0} \cdot S$$

$$E(x) \cdot S = \frac{P d}{\epsilon_0} \cdot S$$

$$E(x) = \frac{P d}{\epsilon_0}$$

方向は x 軸方向負の向き.

②: 範囲 x - 変換して考える.



範囲 x を戻す.

x に $x+d$ を代入すると

$$E(x) = \frac{P(2x+d)}{\epsilon_0}$$

ガウスの法則より

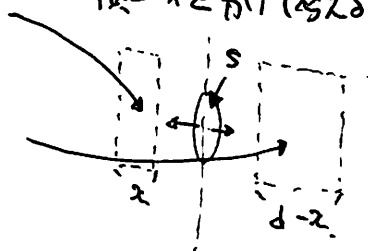
$$\int E(x) \cdot d\mathbf{S} = \frac{P x}{\epsilon_0}$$

$$\int E(x) \cdot d\mathbf{S} = \frac{P(d-x)}{\epsilon_0}$$

$$E(x) = \frac{P x}{\epsilon_0} - \frac{P(d-x)}{\epsilon_0}$$

$$= \frac{P(2x-d)}{\epsilon_0}$$

領域 x を分けて考えると.



← x 軸方向正の向き \oplus にすると

範囲変換はわかりにくかったからしただけ. 直接でもできるかもしれない.

③: ガウスの法則より①と同様に

$$E(x) = \frac{P d}{\epsilon_0}$$

方向は x 軸方向正の向き.

②の式に $x=0$ を代入

$$E(x) = \frac{P d}{\epsilon_0}$$